

宇佐市長からのメッセージ

「コロナに負けるな！がんばろう宇佐」応援プロジェクト (新型コロナウイルス感染症対策事業)について

現在、宇佐市での感染は確認されていませんが、年間を通じて多くの観光客が訪れる宇佐神宮やアフリカンサファリ等の観光地は、外出自粛や行動制限により閑さんとした状態が続き、四日市の飲食店などの人の出入りもまばらです。ホテルや旅館、安心院のグリーンツーリズムなどの宿泊施設は、キャンセルが相次ぎ、今後の予約も入らない日々が続いています。

また、大分県北部地域の第二種感染症指定機関である宇佐高田医師会病院をはじめ市内の医療機関等では、感染者や感染の疑いがある患者への医療や療養等にあたる医療従事者が、昼夜を問わず、自分の感染リスクへの不安を抱えながら業務を行っています。

市では、これまで独自の支援施策として、①全小中学校への非接触型体温計の配備、②全戸4か月間の水道基本料免除、③減収となった事業者への事業継続支援金給付と融資利子等補助、④宿泊施設へのキャンセル補助、⑤飲食店のエール飯補助など、商工会議所や商工会、観光協会、JA、金融等の関係機関をはじめ、市民団体とも連携して各種事業に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症により影響を受ける市民や市内事業者及び生産者を支援していくためには、今後とも、市独自の各種支援施策が必要です。また、その財源も確保しなければなりません。是非とも、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

なお、当市の「新型コロナウイルス感染症対策」を応援していただくご寄附については、この項目をご指定ください。

令和2年5月

宇佐市長 是 永 修 治